

Global Digital Transformation Partner

第34期 中間期

トランスコスモス通信

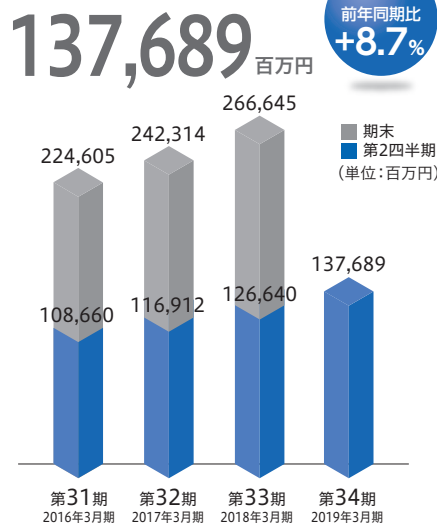
2018年4月1日 >>> 2018年9月30日

# トップメッセージ

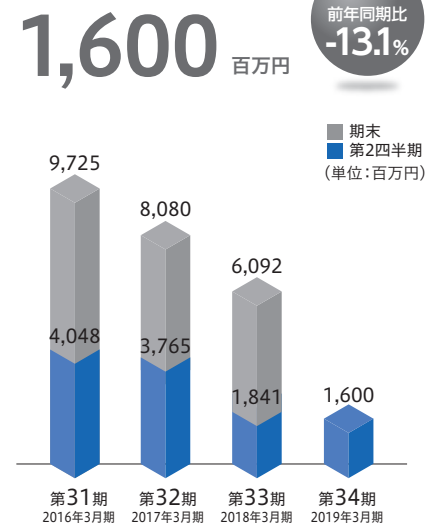
株主・投資家の皆様には、  
平素より格別のご支援を賜り、  
厚く御礼申し上げます。

ここに株主・投資家の皆様へのご挨拶と、  
2019年3月期第2四半期  
(2018年4月1日～2018年9月30日)の  
業績に関するご報告をいたします。

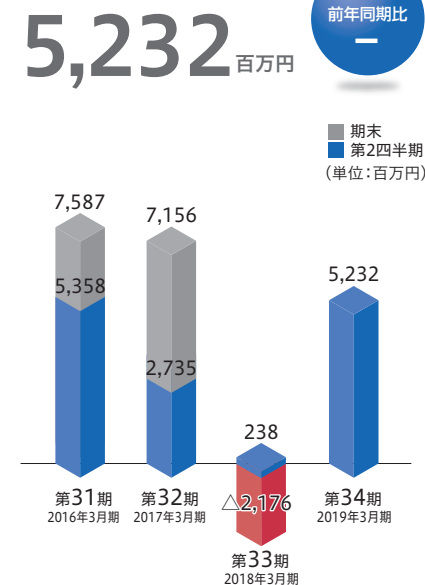
## ● 連結売上高



## ● 連結営業利益



## ● 親会社株主に帰属する 四半期純利益



## 当期の決算の概要について

当社グループが展開するサービスを取り巻く環境では、労働人口の減少、企業のグローバル化、IoT・AIをはじめとしたデジタル技術の進展などを背景に、業務の効率化やコスト競争力の強化、売上拡大などにつながるアウトソーシング

サービスの需要が拡大しています。このような状況の中、当社グループは、既存サービスに加え、将来の成長に向けて取り組んできた新サービスなどを、日本および中国・韓国を中心としたアジア市場で積極的に展開し、受注の増加につなげました。また、引き続きデジタル技術を活用した独自サービスの開発と提供、海外展開の加速化などに向けた取り組みを強化しました。

## デジタル技術を活用した 独自サービスの開発と提供

デジタル技術の活用に向けた取り組みでは、当社のAI研究所である「Communication Science Lab」の先進的な技術力と、当社がこれまでコンタクトセンターで培ってきた運用ノウハウを融合し、コンタクトセンターにおける対応

品質自動判定AIを開発しました。2018年度内の本格展開を目指しています。さらに、コンタクトセンターの音声認識環境の導入から運用までをワンストップで提供し、サービス品質向上と業務効率化を促進する、音声認識ソリューション「transpeech(トランススピーチ)」の提供を開始しました。また、株式会社安井建築設計事務所、当社、および当社の連結子会社である応用技術株式会社の3社協業により、ビルオーナー・ビル管理会社向けにICT<sup>②</sup>による施設マネジメント・ワンストップサービスの提供を開始しました。

## 海外展開の加速化に向けた取り組み

海外においては、日本のIT技術を活用した新たなスポーツ体験の提供を目的に、合同会社DMM.com、株式会社STVV(本社:ベルギー)、株式会社Candeeと当社の4社で、ベルギーのサッカースタジアムのICT化を目指した「Connected Stadium(コネクテッドスタジアム)事業」を開始しました。また、タイ王国において、

連結子会社のグランドデザイン株式会社が開発・運営する生活者と店舗・ブランドをつなぐプラットフォーム「Gotcha!mall(ガッチャ!モール)」のサービス提供を開始しました。タイ王国で大きな影響力を持つ各大手財閥と連携し、すでにコンビニの「ファミリーマート」「ローソン」、スーパーの「TOPS」など、合計1,500店以上がタイの「Gotcha!mall」への参画が決まっており、今後も順次拡大していきます。また中国において、陝西省西安市、湖北省武漢市にそれぞれコンタクトセンター拠点を新設し、拡大し続ける中国市場でのサービス需要に向けた体制を強化しました。

## 今後の取り組みについて

引き続きお客様企業の売上拡大・コスト最適化といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、アジア市場を中心としたグローバルで事業展開を加速させ、2桁成長の売上高と前期実績を上回る収益を確保することを目指します。

## 株主還元の考え方

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけています。当社の配当政策は、業績に連動した配当性向重視型を採用しており、株主の皆様に対する利益還元をはかることにより、結果として当社株式の市場価値を高めることを基本方針としています。

当期の配当金につきましては、現時点では未定としておりますが、具体的な配当金額が決定した時点で速やかに公表いたします。

引き続き、株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2018年12月  
代表取締役社長兼COO

奥田昌孝

### 用語解説

- ①IoT→「Internet of Things」の頭文字を取った単語。身の周りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組みのことを指す。  
②ICT→「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略。通信技術を活用したコミュニケーションを指す。

# 2018年度上半期のトピックス

スマートフォンでカタログと連動したAR<sup>1</sup>動画を視聴できる日本直販ARアプリをリリース



中国大手ネットサービス企業「テンセント」のソーシャル広告代理権を取得

LINEの新機能「Flex Message」の先行提供を開始

ビルオーナー・ビル管理会社向けにICTによる施設マネジメント・ワンストップサービスの提供を開始

株式会社トランスコスモス技術研究所の営業を開始



2018

4月

5月

6月

## DMM、STVV、Candeeと、ベルギーで「Connected Stadium事業」を開始

サッカー ベルギー1部リーグ シント＝トロイデンVV (STVV)において、スタジアムのICT化を目指した「Connected Stadium事業」を開始した。STVV公式アプリの開発および運用、電子チケット発券システム「QuickTicket」の導入などを支援していきます。



## コンタクトセンターにおける対応品質自動判定AIを開発

当社のコンタクトセンターの運用ノウハウと、当社のAI研究所であるCommunication Science Labの先進的な技術力によって、「ヒトの精度で大量・高速」に対応マナーを自動で判定するAIの開発に成功しました。2018年度内のサービス化と本格展開を目指します。



## タブレット型の多言語ビデオ通訳サービス「ことばスイッチ」を提供開始

「ことばスイッチ」は、日本語以外の言語を話す方々との言語コミュニケーションを、タブレットやスマートフォンを通じて行う三者間通訳サービスアプリケーションです。訪日外国人観光客の増加により高まる多言語通訳ニーズに対応していきます。



用語解説

<sup>1</sup>AR→「Augmented Reality(拡張現実)」の略。コンピューターを利用して現実の風景に情報を重ね合わせて表示する技術のことを指す。

「Clova Extensions Kit」の  
初期パートナーに

LINE  
Clova

「LINEポイントコネクト」の  
初期パートナーに

P LINE  
ポイント

アノテーション<sup>②</sup>センターを  
ベトナムに開設



「Gotcha! mall」が東南アジアで事業展開。  
第一弾としてタイ王国でサービス開始

Gotcha! mall Thailand

実用的なARの導入・活用サービス  
「transcosmosARmadillo」を提供  
開始

trans  
cosmos  
ARmadillo

7月

8月

9月

## コーポレートバックオフィスサービス 提供により間接費改革

出張・経費管理ソリューション「SAP Concur」  
導入企業の経費処理に関わる全ての業務に  
一括で対応するサービスを提供します。「SAP  
Concur」とBPOサービスをあわせて提供する  
ことで、お客様企業のさらなる業務効率化、精度  
向上の実現を目指します。

SAP Concur  ×  BPOサービス

経費精算・BPO活用で  
はじまる間接費改革

## 音声認識ソリューション 「transpeech」を提供開始

「transpeech」は、コンタクトセンターの音声  
認識環境の導入から運用までをワンストップ  
で提供するソリューションです。音声認識エン  
ジン「AmiVoice」を採用し、初期費用・導入期間  
の大幅削減を実現するとともにリスクマネジ  
メントや品質管理、後処理業務の効率化を促進  
していきます。

transpeech

## スマホ世代向け「ノンボイスコンタクト センターパッケージ」を提供開始

「ノンボイスコンタクトセンターパッケージ」は、  
FAQやbot<sup>③</sup>／有人チャットでの効率的なカス  
タマーサポートに特化したサービスです。ファ  
ーストチャネルを電話からチャットにシフトして  
コスト最適化につなげるとともに、満足度の最大  
化を実現していきます。

ノンボイス  
コンタクトセンター  
パッケージ

### 用語解説

- ②アノテーション→あるデータに対して関連する情報を注釈として付け加えることをいう。ここではAI用の教師データを作成することを指す。  
③bot→コンピュータやインターネットの分野においては、作業を自動化するプログラムの総称のことを指す。

# 2018年度上半期のトピックス 受託実績・導入事例



## セブン&アイのネットショッピングサイト「オムニ7」で AIによるお客様からのお問い合わせ対応を開始

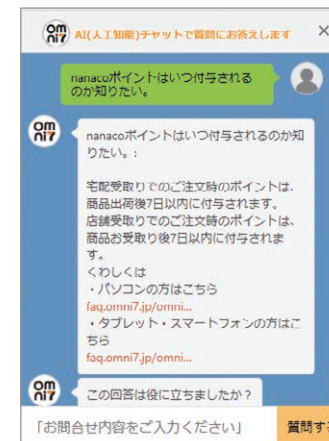
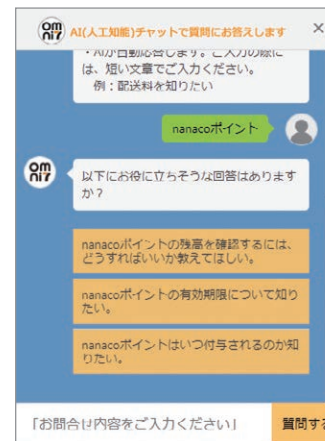
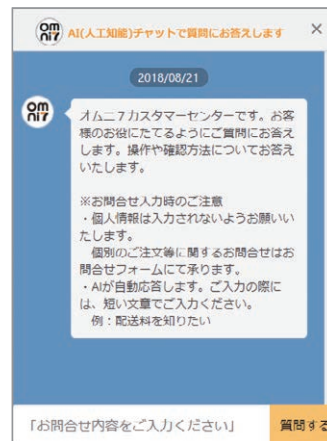
株式会社セブン&アイ・ホールディングス様は、運営される「オムニ7」において、お客様のライフスタイルの変化に合わせてさらに利便性を高めることを目的に、AIによるお問い合わせ対応サービスを導入されました。

このサービスのプラットフォームとして、当社が提供する自動応答エンジン「BEDORE(ベドア)」が採用されました。



「BEDORE」は、高度な対話性能を持った「対話型チャットエンジン」です。高い日本語認識能力からユーザーの「話し言葉」を理解し、最もふさわしい返答をします。お客様が「オムニ7」サイトにて、お問い合わせや質問事項をチャット窓口から入力すると、「BEDORE」から最適な回答を対話形式で返信します。フリーワードや文章、話し言葉など言葉のゆれも吸収できるため、お客様はストレスなく、最短で正確な回答を得ることが可能になります。

### 【 サービス提供イメージ 】



# 2018年度上半期のトピックス パートナー認定・表彰



米ガートナーが発刊したBPO市場レポートにおいて  
世界の地域別BPOプレイヤー 日本で  
**売上高第1位を獲得**



LINEの法人向けサービスの販売・開発のパートナーを  
認定する「LINE Biz-Solutions Partner Program」で  
**2期連続で最上位パートナーに認定**



Adobe Symposium 2018で  
「Japan Advertising Cloud  
Agency of the Year」を受賞



▲ アドビ製品間の高度な連携で先進的なデジタル  
エクスペリエンスを複数創出したことが評価され受賞



トランスコスモスグループのMagic Pandaが、中国アリババグループから  
「The Customer Experience Excellence Award of 2018」など多くの賞を受賞



▲ 中国における建設業界向け設計支援サービスが評価され、  
多くの賞を受賞

▲ 中国最大のECモールTMALL  
から5つ星評価を再び獲得

# 事業紹介

2016年4月より、マーケティング、セールス、カスタマーケアといったお客様企業の事業拡大につながる業務支援を一層強化していくため、デジタルマーケティング (Digital marketing)、EC (E-commerce)、コンタクトセンター (Contact center) の各サービスを統合した DEC サービスの展開を開始しました。

## ビジネスプロセスアウトソーシングサービス

経理・財務や人事などのバックオフィス業務、受発注業務、情報システム運用保守業務、機械・建築設計といった設計業務など企業のノンコア業務を支援するアウトソーシングサービスを提供。

### 当社の特長

- 日本国内における最大規模のオフショアサービス体制を確立 (中国・タイ・ベトナム・インドネシア・フィリピン、17拠点)
- システム開発/運用・オーダープロセッシング・建築設計・機械設計・組込開発・データ入力・人事/経理/営業/バックオフィスと幅広い領域においてサービスを提供
- 業界に先駆けて1995年に中国でのオフショア開発体制を確立
- 豊富な実績 (創業52年、ヘルプデスク<sup>1</sup>業界トップクラス)

## コンタクトセンターサービス

顧客からの問い合わせや苦情対応、商品・サービスの案内や営業セールス支援など、顧客サポート業務のアウトソーシングサービスを提供。

### 当社の特長

- 日本・中国・韓国を中心としたアジア最大規模のコンタクトセンターサービスプロバイダー
- 国内30拠点・約17,320席、海外40拠点・約13,490席の国内最大規模のコンタクトセンターサービスを提供
- 金融・テレコム・ハイテク・医薬・化粧品・流通・自動車・航空・公共など多分野での取引実績
- いち早くソーシャルメディアでの顧客サポートを専門的に行う渋谷ソーシャルメディアセンターを開設

## デジタルマーケティングサービス

インターネットインフラを活用したマーケティング活動を支援。インターネットプロモーション、Webサイト構築・運用、オムニチャネルマーケティング、分析・リサーチサービスなどを提供。

### 当社の特長

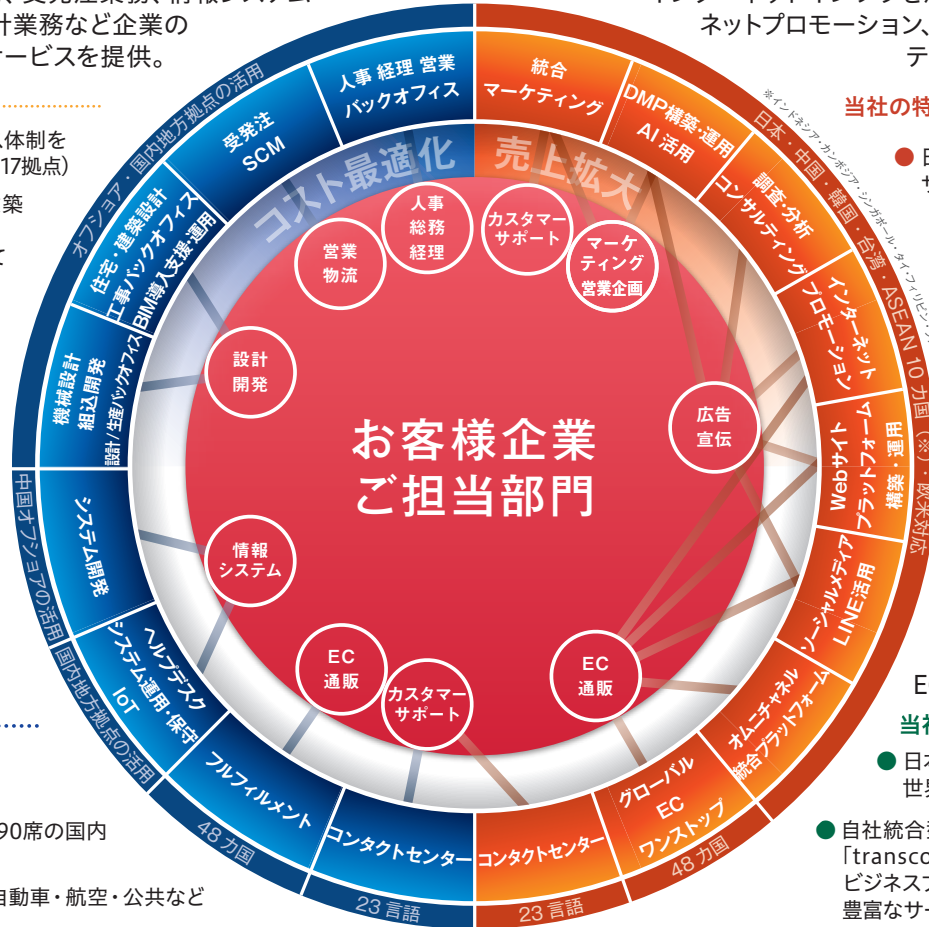
- 日本・中国・韓国を中心としたデジタルマーケティングサービスプロバイダー
- インターネットプロモーションからWebサイト構築・運用まで全てをワンストップで支援する体制を確立
- 国内最大級のWebサイト構築・運用体制を確立
- 北米に事業開発拠点を構え、最新のアドテクノロジー<sup>2</sup>を積極的に導入

## ECワンストップサービス

企業のEC事業戦略およびブランド戦略に基づき、ECサイト構築・運用からフルフィルメント、カスタマーケア、Webプロモーション、分析までEC事業に必要な各種機能をワンストップで提供。

### 当社の特長

- 日本・欧米・中国・韓国・ASEAN・インド・中南米など世界48カ国でサービスを提供
- 自社統合型ECプラットフォーム「transcosmos eCommerce HUB」、コンタクトセンター・ビジネスプロセスアウトソーシング・デジタルマーケティングなど豊富なサービス・実績を融合
- 欧米・中国・韓国の有力企業とのパートナーシップで対象市場の文化や特性に合わせたEC事業展開が可能
- アパレルやコスメ、電子書籍などのASEAN市場トッププレイヤーと提携し、ASEAN市場へのEC進出を支援



### 用語解説

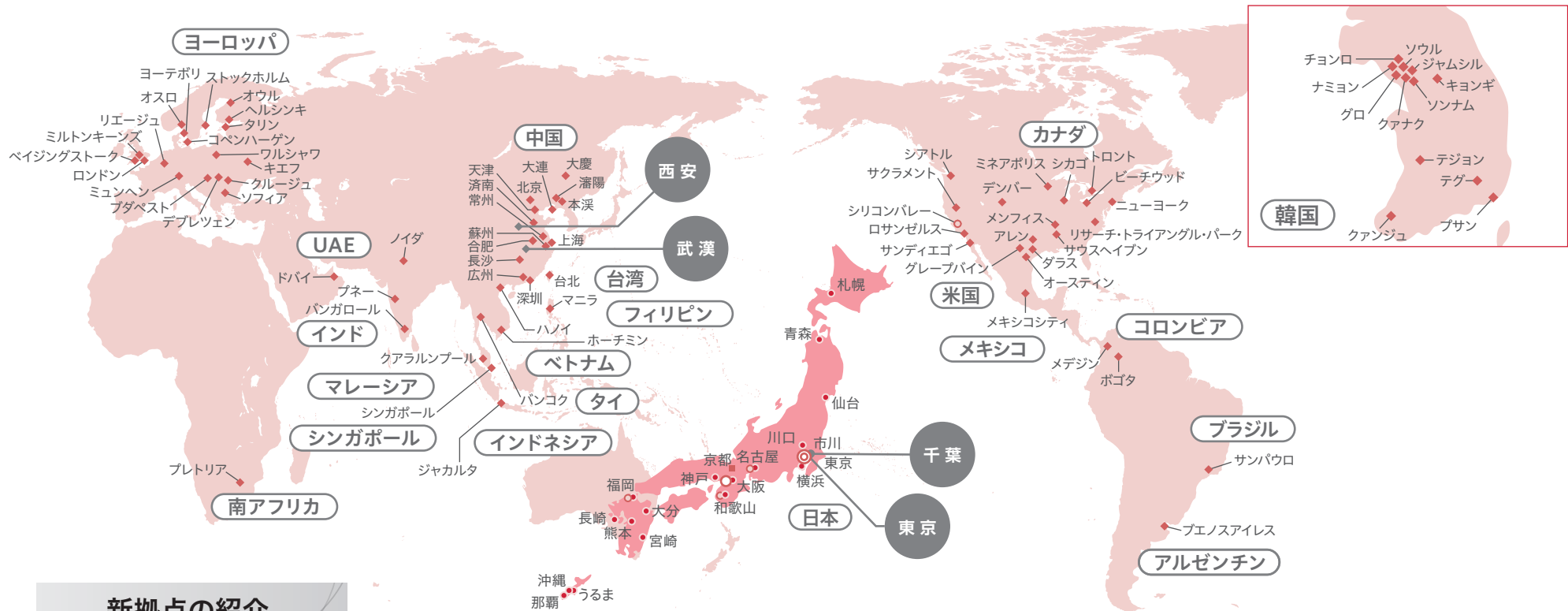
- <sup>1</sup>ヘルプデスク→パソコンやソフトウェアの使用方法やトラブルに関する問い合わせに対応する企業内の業務を指す。社外に委託する場合も多い。  
<sup>2</sup>アドテクノロジー→テクノロジーを駆使した広告のことで、主にインターネット技術を活用した広告領域全般を指す。



# 国内・海外拠点

世界32カ国、172拠点で展開

◎ 本社 ○ 本部 ● 支社 ■ 営業所 ● サービス拠点 ● 国内 60拠点 ◆ 海外 112拠点 (31カ国)  
 (拠点数には、本部・支社・事業開発・提携先なども含む) 2018年9月末現在



## 新拠点の紹介

**東京** 



**BPOセンター亀戸** 約**200**席  
ITアウトソーシングサービス全般を提供

**千葉** 



**マーケティングチェーン  
マネジメントセンター  
千葉市川** 210席  
コンタクトセンターサービス、  
チャットサポートサービスを提供

**西安** 



**西安センター** 約**270**席  
コンタクトセンターサービスを提供

**武漢** 



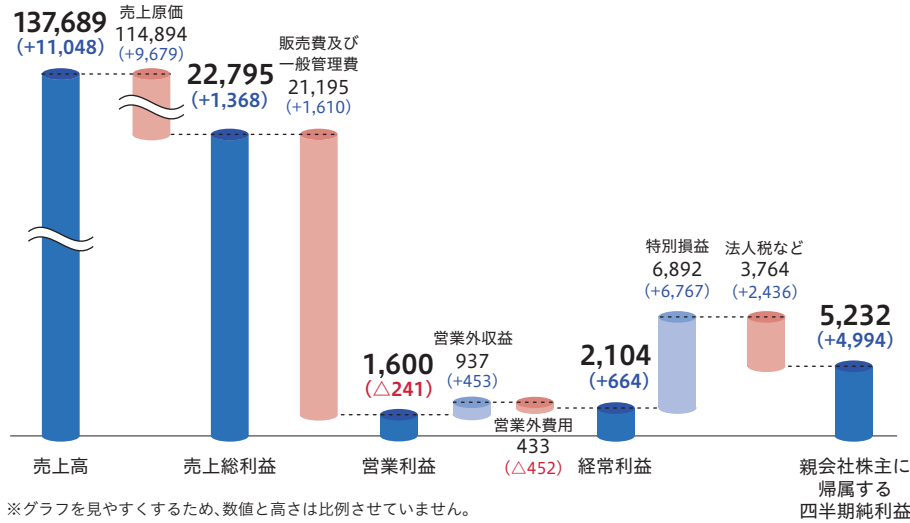
**武漢センター** 約**330**席  
コンタクトセンターサービスを提供

# 連結財務情報

## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)



### 売上高

単体サービス、および中国子会社、韓国子会社を中心とした海外関係会社事業などの受注増加により、売上高は前年同期比8.7%の増収となりました。

### 営業利益

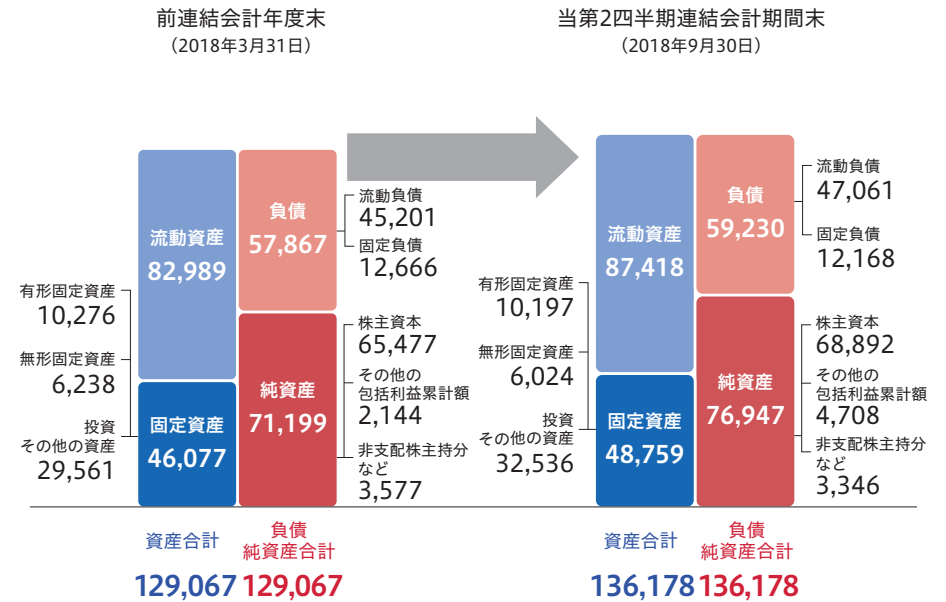
前期より将来の成長に向けた先行投資の影響で販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は前年同期比13.1%の減益となりました。なお、当第2四半期連結会計期間(2018年7月~9月)においては、前年同期比では増益となりました。

### 親会社株主に帰属する四半期純利益

ファンド運用益の増加や持分法投資損失の減少など営業外損益改善により経常利益が増加し、さらに関係会社株式売却益の計上など特別損益改善などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,232百万円となりました。

## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



### 資産、負債および純資産の状況

総資産は、主に関係会社株式の一部売却により「現金及び預金」が増加したことや、当該株式の一部売却に伴い残存保有株式を投資有価証券勘定に振替え、時価評価したことにより、「投資有価証券」が増加した影響で7,111百万円増加し、136,178百万円となりました。

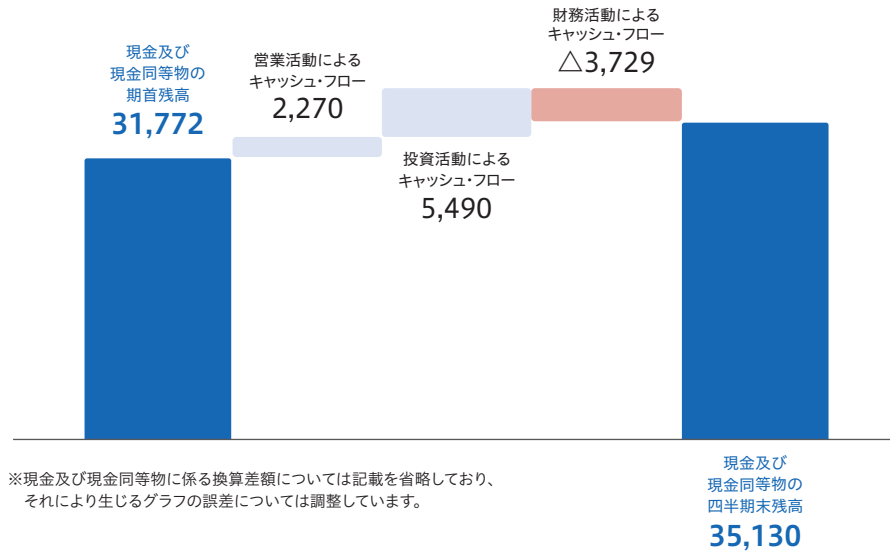
負債は、主に「買掛金」や「未払法人税等」が増加したことにより1,363百万円増加し、59,230百万円となりました。

純資産は、5,748百万円増加し、76,947百万円となり、自己資本比率は54.0%となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)



※現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しており、それにより生じるグラフの誤差については調整しています。

### キャッシュ・フロー

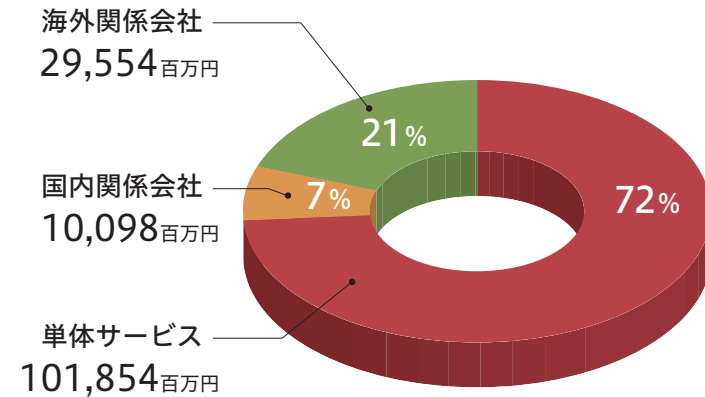
営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権が増加したことと、未払費用が減少したことにより、前年同期と比べ1,507百万円収入が減少し、2,270百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に「関係会社株式の売却による収入」が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間において5,490百万円の収入(前年同期は4,333百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に「配当金の支払額」が減少したことにより前年同期と比べ539百万円支出が減少し、3,729百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ3,357百万円増加し、35,130百万円となりました。

## セグメント別売上高

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)



※セグメント間取引消去等△3,818百万円は含みません。

**単体サービス** 当社が展開するアウトソーシング事業

**国内関係会社** 国内グループ会社が展開するアウトソーシング事業

**海外関係会社** 海外グループ会社が展開するアウトソーシング事業

# ダイバーシティ推進活動のご報告

## 女性活躍推進

当社では、以下の「3本柱」を掲げ、様々な取り組みを行っています。

### 取り組みの3本柱

- 女性社員の能力開発・キャリア開発支援
- 意識改革・広報活動
- 働きやすさ支援

## 女性社員の能力開発・キャリア開発支援

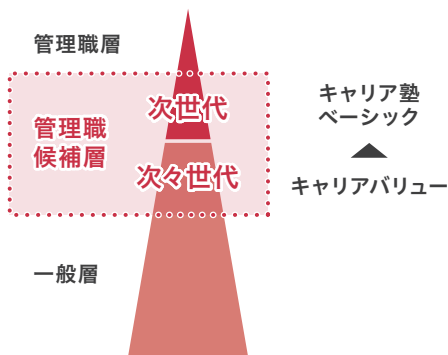
女性社員が高い意欲を持ちキャリア形成できるよう、能力開発やキャリア開発を支援するための様々な取り組みを行っています。

### 選抜型研修

管理職候補の母集団を形成するため、2008年より2階層（次世代・次々世代）を対象とした選抜型研修を実施しています。

次世代層：「キャリア塾ベーシック」 次々世代層：「キャリアバリュー」

研修の卒業生は、多くがその後上位職へ昇格しており、女性管理職輩出のパイプラインを形成しています。



■卒業生数  
 キャリア塾ベーシック：194名（2008～2017年）  
 キャリアバリュー：426名（2008～2017年）

## 社外人材育成プログラムへの派遣

### ● 異業種ビジネスリーダーシップ塾

他流試合を通じた視野拡大・意識向上と人脈形成を目的とし、異業種の他企業と合同で女性管理職の候補人材を育成するための研修プログラムを実施しています。



### ● NPO法人 J-Win

2008年からNPO法人 J-Winへ加入し、各プログラムへ女性社員を派遣しています。

## キャリア開発施策

### ● 講演会

キャリア形成に対する自発的な意識とモチベーションの向上をはかるため、毎年様々なテーマを設け、外部講師による講演会を開催しています。



### ● 特別施策

女性活躍を推進する上での課題に応じ、様々な施策を実施しています。（メンタリング・プログラム、フォローアップ研修、ダイバーシティ研修など）

## 障がい者雇用促進

当社では、以下の「基本方針」を掲げ、障がい者の雇用を促進しています。

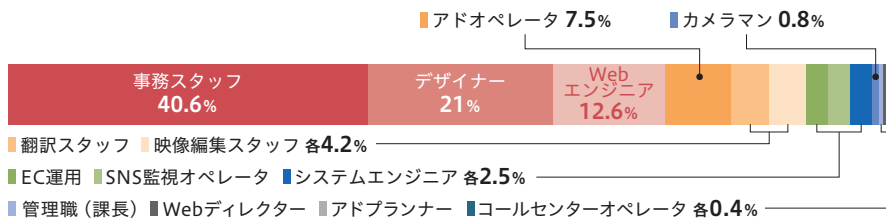
### 障がい者に「働きやすい」と認められる企業ブランドの確立を目指す！

- 現場の業務ニーズに応じた雇用をはかる
- プロフィットセンターへ積極的に人材を登用する
- 障がいの有無に関係なく、  
当社の一員として会社に貢献できる人材を育成する
- 障がいの種別にとらわれず、幅広く人材を雇用する
- 会社と障がい者が、お互いにWin-Winとなる関係を構築する

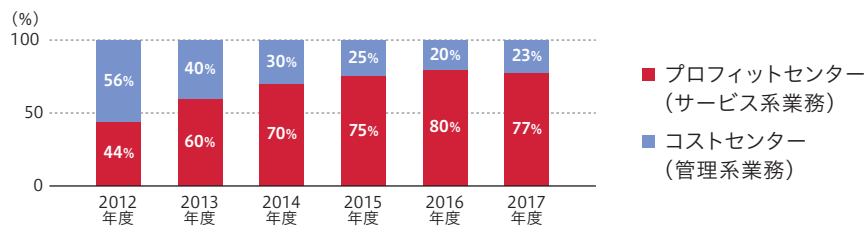
### 障がい種別割合 障がいの種別にとらわれず雇用



### 職種別割合 様々な職種で活躍



### 業務別割合 (プロフィットセンター:コストセンター) 約8割がプロフィットセンターで勤務



## 当社における障がい者雇用への主な取り組み



### ● 聴覚障がい者支援(情報保障)

手話通訳者の社員が常駐し、会議などで聴覚障がい者の社員をサポート



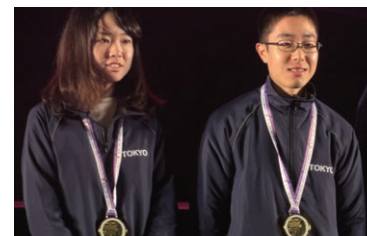
### ● 精神障がい者支援(メンタルケア)

精神保健福祉士の社員が常駐し、定期面談で精神障がい者の社員をサポート



### ● クリエイター人材育成

Web、デザイン、映像など未経験者を育成し、約80名のクリエイターが活躍



### ● 全国アビリンピック金賞(技能向上)

業務で習得した技能を活かし、全国アビリンピックで金賞受賞

# ダイバーシティ推進活動のご報告／災害などへの対策・取り組み

## ワークライフバランスの推進

当社では、多様な人材が働きやすく、能力を最大限発揮できる職場環境づくりを目指し、ワークライフバランス実現に向けた取り組みを実施しています。

### 推進テーマ

- ① 業務プロセスを見直し、長時間労働をなくす
- ② 有給休暇が取得しやすい職場づくりを目指す
- ③ 生産性向上につながる事例・ツールを標準化する
- ④ 多様な働き方を取り入れ、ひとりひとりが活躍できる環境を整える
- ⑤ キャリアアップと自律的な成長を支援する

### テレワーク・デイズに参加

当社は、2018年7月23日(月)～7月27日(金)の期間、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府が東京都および関係団体と連携した「テレワーク・デイズ」実施に参画いたしました。

当社の限定した部門において参加し、テレワーク・デイズと有給休暇取得促進のトライアル体験を通して、新しい働き方の可能性を検証する機会となりました。

総勢**303名**が参加

- ・在宅勤務トライアル実施 20名
- ・時差Biz(時差出勤) 119名
- ・期間中有給休暇取得奨励(連休) 164名



### Work Style Innovation 働きたい!改革

生産性向上と自律的な改善活動を加速させる働き方改革のアプローチとして、様々な取り組みを行っています。

(目的)

- ・事業所責任者が主体となった自律改善活動のスタートおよび定着
- ・全員参加活動による職場環境と関係づくり(働きがいのある会社を目指す)
- ・実施事例のナレッジ化

(主な取り組み)

- ・残業時間削減(10%)目標
- ・有給休暇取得5日以上
- ・トラブルなし(労務・品質)



## 災害などへの対策・取り組み

このたびの台風第21号および北海道胆振東部地震により、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

当社では、グローバルに事業を展開する中において、地震、台風、感染症、地域紛争、テロなどの不測の事態の発生に備え、以下の基本方針に基づき、災害などへの対策・取り組みを強化しています。

### 危機管理方針

- ① 人の生命の尊重・健康の確保を最優先とする
- ② ステークホルダーおよび当社の損失を最小化する
- ③ 緊急時においても、誠実さ、公正さに留意し行動する
- ④ 本社および、国内拠点、海外拠点などにおいて日常から危機に関する情報収集に努め、適宜、関係者間で情報共有をする

### 主な取り組み

#### ● 安否確認システムの活用

役職員(約3万人)を対象として、安否確認システムを利用しての大地震などを想定した安否確認訓練を定期的に行っています。2018年9月に発生した北海道胆振東部地震においても、当該システムを用いて被災地の役職員約4,000名の安全を確認しました。

#### ● 防災備蓄品の導入

日本全国各センターに防災備蓄品を配備しています。北海道胆振東部地震においても、札幌市内の各センターに備蓄していた水、アルファ米、乾パンを被災役職員に配布しました。また、その他の必要な支援物資については、本社災害対策本部にて迅速に調達・配送し、被災役職員の安全・安心の確保に取り組んでいます。

#### ● AED(自動体外式除細動器)の設置

役職員の万一の事故や発症時に備えて、日本全国各センターにAEDを配備しています。AEDは突然の心停止(心臓突然死)から命を救うため、痙攣を起こした心臓に電気ショックを与える装置のことで、操作は音声ガイダンスにより指示され高度な専門知識を必要とせずに行うことができますが、救命講習を実施するなどし、有効性を高めています。

#### ● 海外赴任者・出張者への取り組み

海外での安全確保に対する会社方針や対応体制を定めている他、海外赴任者(その家族を含む)・出張者に向けて、現地での行動指針および実際に被害に遭遇した場合の対応方法などについてまとめた「危機管理マニュアル」を配布し、万一に備えた手引き活用と日頃からの危機意識の醸成をはかっています。

## 会社概要 (2018年9月30日現在)

会社名	トランスコスモス株式会社
(商号)	(トランス・コスモス株式会社) (transcosmos inc.)
設立年月日	1985年6月18日 (登記上 1978年11月30日)
資本金	290億6,596万円
従業員数	単体：12,889名 グループ：27,199名
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行

本社	東京都渋谷区渋谷3-25-18 〒150-8530 TEL.03-4363-1111 (大代表) FAX.03-4363-0111
大阪本部	大阪府大阪市西区土佐堀2-2-4 土佐堀ダイビル 〒550-0001 TEL.06-4803-9500 (代表) FAX.06-4803-9590

## 株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,794,046株
株主数	11,865名

## 大株主の状況 (2018年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
奥田 昌孝	5,910	12.11
奥田 耕己	5,498	11.27
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	4,117	8.44
公益財団法人トランスコスモス財団	3,753	7.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,182	6.52
平井 美穂子	1,463	3.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,011	2.07
GOVERNMENT OF NORWAY	901	1.85
有限会社HM興産	722	1.48
トランス・コスモス社員持株会	627	1.29

注) 1. 上記の他、当社が自己株式7,318千株を保有しています。  
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。  
3. 持株比率は、小数点第三位を四捨五入により表示しています。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株  
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎ 0120-782-031  
(インターネットホームページURL) <https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>  
上場証券取引所 東京証券取引所  
公告の方法 当社のホームページに掲載する。  
<https://www.trans-cosmos.co.jp>

※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

## 役員構成 (2018年11月1日現在)

代表取締役グループCEOファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
取締役 副社長執行役員	石見 浩一
取締役 専務執行役員	森山 雅勝 永倉 辰一 牟田 正明
取締役	高野 雅年 本田 仁志 白石 清
上席常務執行役員	佐藤 俊介 神谷 健志
社外取締役 (監査等委員)	夏野 剛※ 吉田 望※ 宇陀栄次※
社外取締役	オウエン・マホニ※ 鳩山 玲人※ 島田 亨※
副社長執行役員	向井 宏之
専務執行役員	松原 健志 稲積 憲
上席常務執行役員	貝塚 洋 橋田 尚彦 緒方賢太郎 山下栄二郎 小野 敦史 三川 剛 谷川 弘樹
常務執行役員	宮澤 範充 井上 博文 山喜 和彦 内村 弘幸 長谷川 勉 植松 芳宏 森田 祐行 中山 国慶 河野 洋一 須部 隆 福島 常浩 鷲尾 剛
執行役員	兼澤 伸二 吉田 啓介 久保雄一郎 山根 径 荻野 正人 草埜 健太 下田 昌平 古原 広行 名倉 英紀 野口 誠 真嶋 良和 高山 智司 富吉聰一朗 コウオン サンチョウ

※ 独立役員として東京証券取引所に届出しています。

### ● ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっています。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっていますので、左記電話照会先にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 支払開始日から満3年未満の未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



トランスコスモス株式会社 証券コード: 9715

東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号 〒150-8530 TEL.03-4363-1111 (大代表) FAX.03-4363-0111  
<https://www.trans-cosmos.co.jp>



トランスコスモス通信は、ノーマライゼーション推進統括部(当社の障がい者雇用部門)がデザイン・制作をしています。